

令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 文化振興課
 担当名: 文化創造・発信担当
 内線: 2882

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P13	地域社会を守る和 문화の発信と継承団体の支援事業費			一般会計	総務費	県民費	文化振興費	文化発信・継承事業費	
事業期間	令和4年度～令和8年度	根拠法令	埼玉県文化芸術振興基本条例第6～8条、第14条及び第17条		針路	08	支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール	
					分野施策	0803	文化芸術の振興	SDGsターゲット	
1 事業概要	<p>担い手と後継者不足に悩む伝統芸能（無形民俗文化財）の継承を促し、この取組を通じて地域社会を守る。人と人をつなぎ地域社会を維持する役割を果たしてきた伝統芸能を中心とした和 문화の支援に取り組むこととする。その魅力を発信するイベントでステージの観覧とワークショップによる実体験で県民に浸透する。また、演技の動きのデータ化、地域の企業や団体等の協力の体制、共通の悩みを抱える団体の情報交換の場を作ることなどで、伝統芸能の存続と活性化の道を見出し、継承団体を支援する。</p> <p>ア 無形の和 문화の魅力発信 △510千円 イ 伝統芸能の継承団体の支援 △372千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容 ア 無形の和 문화の魅力発信 7,286千円 イ 伝統芸能の継承団体の支援 1,870千円</p> <p>(2) 事業計画 ア 無形の和 문화の魅力発信 和 문화の魅力を発信するためのイベント（和 문화フェスタ）を1回開催する。県の文化総合ウェブサイト運営し、デジタルアーカイブ動画、イベント情報、支援企業等を紹介する。 イ 伝統芸能の継承団体の支援 パフォーマンスを収録した動画を集めたデジタルアーカイブを制作する。企業や大学、団体が伝統芸能団体等を対象とした「サポーター制度」を構築する。保存団体の参加するフォーラムを年1回開催する。</p> <p>(3) 事業効果 伝統芸能を通じた地域活動の活性化により人と人がつながる地域社会が守られる。文化活動の参加者が増えることで支援者や後継者の確保が進み、伝統芸能が保存・継承される。</p> <p>(4) 補正予算の概要 経費節減等による減額</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△882							△882	8,274
現計額	9,156							9,156	

事業内訳書

事業名	地域社会を守る和文化の発信と継承団体の支援事業費		
単位事業名	無形の和文化の魅力発信	予算額	△ 510千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△510	—	
合計	△510	—	

○歳出 (単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△27	—	経費節減による減
需用費	△33	—	経費節減による消耗品費、印刷製本費の減
役務費	△100	—	経費節減による手数料の減
使用料及び賃借料	△350	—	会場使用料免除等による減
合計	△510	—	

単位事業名	伝統芸能の継承団体の支援	予算額	△ 372千円
-------	--------------	-----	---------

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△372	—	
合計	△372	—	

○歳出 (単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△173	—	経費節減による減
需用費	△9	—	経費節減による消耗品費の減
役務費	△140	—	経費節減による手数料の減
使用料及び賃借料	△50	—	会場使用料免除等による減
合計	△372	—	